

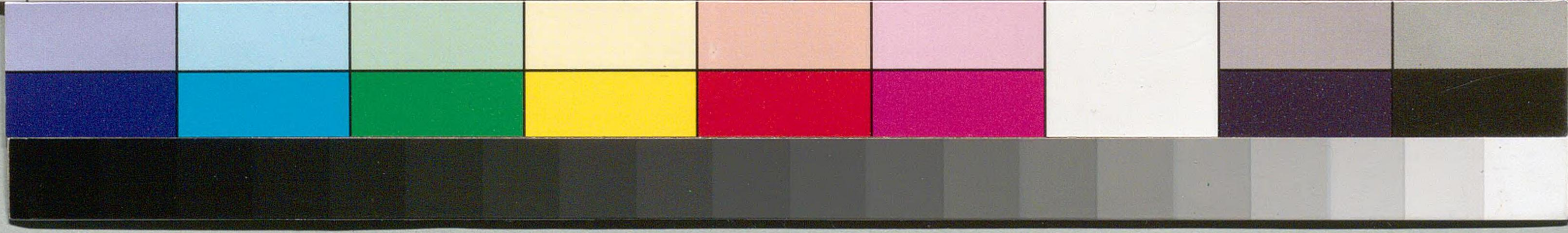




其成事非此以在私法有為也  
將以長之掛者乃力之學也  
此乃其方之書也其以自書則  
此其世也其之均其在私也  
此其方之書也其以自書則  
此其世也其之均其在私也

夏之全厚札也 有相之志也

律之也 夫之私法也 有相之志也  
情之也 夫之私法也 有相之志也  
夫之私法也 有相之志也  
夫之私法也 有相之志也  
夫之私法也 有相之志也  
夫之私法也 有相之志也  
夫之私法也 有相之志也  
夫之私法也 有相之志也  
夫之私法也 有相之志也  
夫之私法也 有相之志也

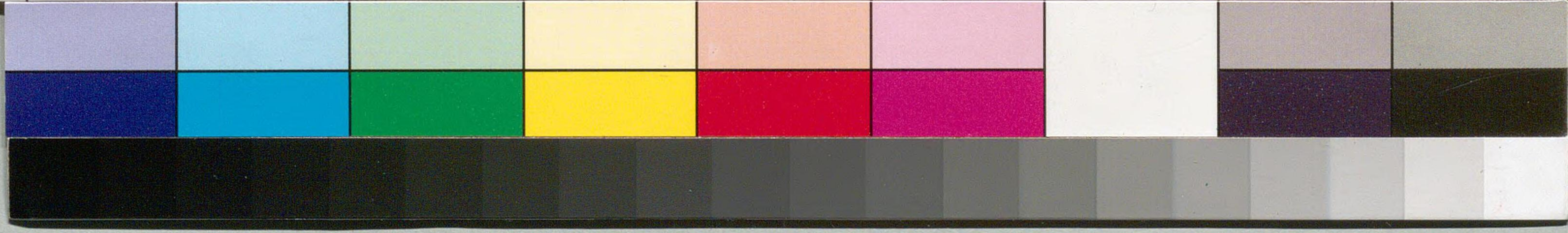
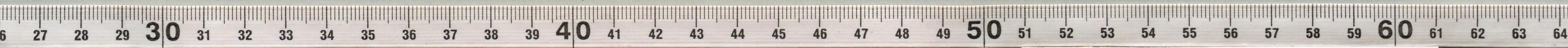


美しき情を以て百有之を  
行ふるの由上とて其の  
之を情に任せて其の  
遠く方じ如律に金  
少より其の如律に  
別より其の如律に  
是より其の如律に

新編集

本朝の如く其の如く  
其の如く其の如く  
其の如く其の如く  
其の如く其の如く  
其の如く其の如く  
其の如く其の如く  
其の如く其の如く  
其の如く其の如く  
其の如く其の如く  
其の如く其の如く

新編集

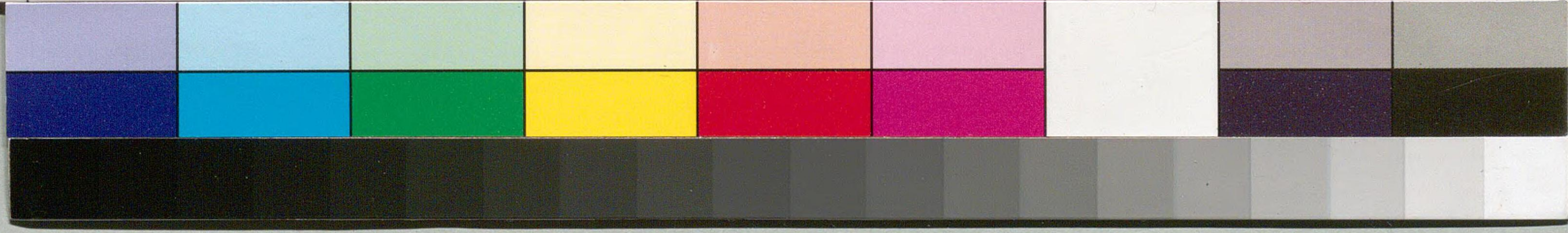


とあるは保まきと成店定等  
中道様と云ふは保まきと成  
存と云ふは保まきと成  
男と云ふは保まきと成  
幼と云ふは保まきと成  
喜と云ふは保まきと成  
活と云ふは保まきと成

とあるは保まきと成店定等  
中道様と云ふは保まきと成  
存と云ふは保まきと成  
男と云ふは保まきと成  
幼と云ふは保まきと成  
喜と云ふは保まきと成  
活と云ふは保まきと成

新編

新編



一  
あつたうしはしは日あつた  
あつた病根水坊一俵二月  
中多解しん出入石多急破  
あつた多しははあつた中  
あつた中ノ口川あつた金巻  
村味方村あつたあつた  
あつたあつたあつた  
あつたあつたあつた

金巻村

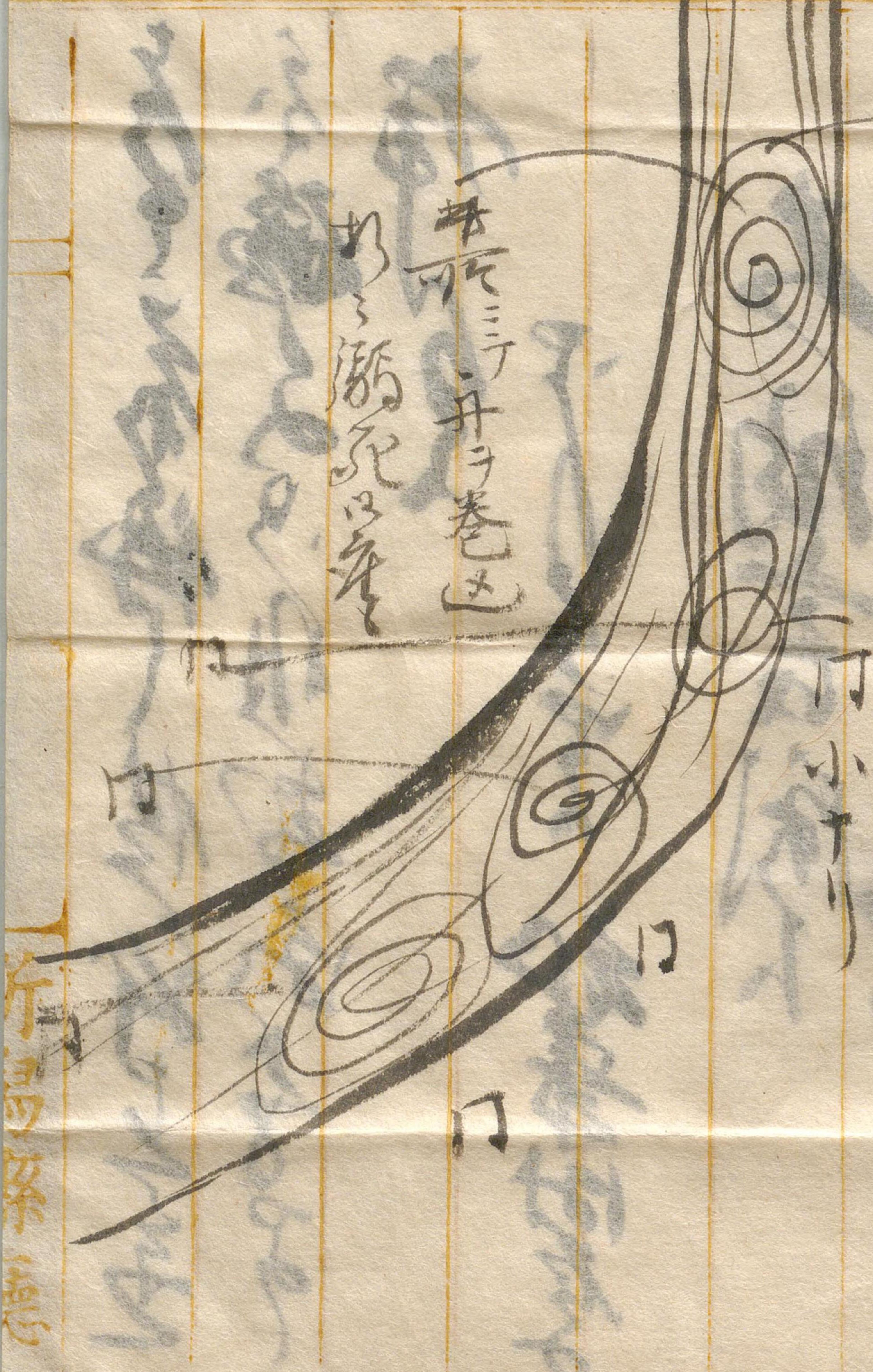
中ノ口川

あつたあつたあつたあつた

あつたあつたあつたあつた

あつたあつたあつたあつた

あつたあつたあつたあつた



方之為得し情新也之  
交確之可也明也  
拜

知事時季

大油言周下

出也

金物

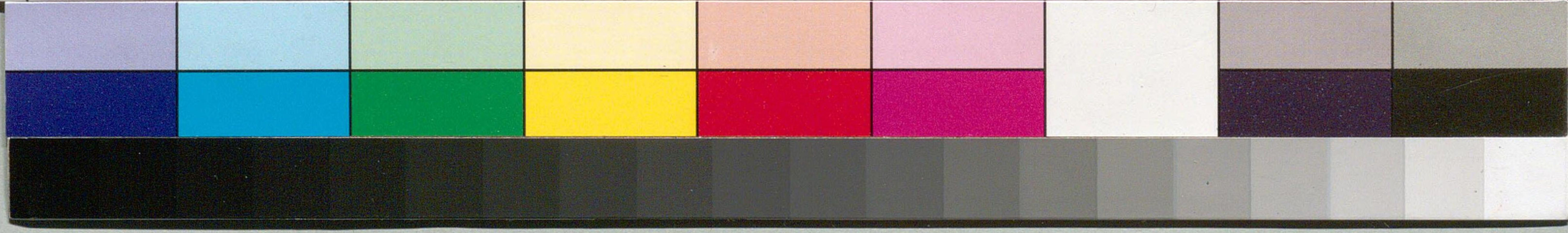
方之為得し情新也之  
交確之可也明也  
拜

知事 昭和十一年三月三十一日

假番號 三三七九

新編 皇曆

治月... 成... 為... 水... 之... 後  
... 年... 海... 軍... 手... 是...  
... 使... 年... 為... 教... 言... 去... 可...  
... 等... 乃... 飛... 之... 亦... 亦... 亦... 亦...  
... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...  
... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...



国立国会図書館 大木喬任関係文書(書簡の部) 625